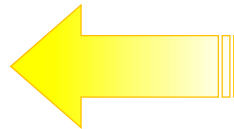
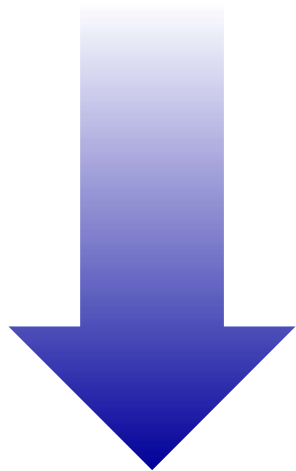


岡山駅東口広場バス乗り場について

- (1) 経緯
- (2) 宇野バス東岡山線の1番乗り場への乗り入れについて
- (3) めぐりん益野線の8番乗り場への乗り入れについて

(1) 経緯

- **八晃運輸が希望している岡山駅東口広場への新規乗り入れ**については、岡電バスと両備バスが希望している増便とあわせて乗り入れても、交通処理が可能であることがJR西日本から示された。(H30.8.29岡山駅東口バス事業者連絡会議)
- 方面別化による利用者の利便性向上の観点から、八晃運輸が新規乗り入れを希望する「めぐりん益野線」の乗り場については、10番が望ましいと考えるが、第1回幹事会、第2回幹事会での議論の結果、「**10番乗り場への乗り入れは、安全性の確保について問題があるため困難**」という結論となった。



(平成31年3月18日)

宇野バスから11番乗り場の「東岡山線」の
1番乗り場への乗り入れ要望

⇒実現すれば11番乗り場へめぐりん乗り入れ
可能との意見

(2)宇野バス東岡山線の1番乗り場への乗り入れについて

(3)めぐりん益野線の8番乗り場への乗り入れについて

(2) 宇野バス東岡山線の1番乗り場への乗り入れについて

<要望の主旨>

東岡山線は、表町バスセンターが始発地で、岡山駅を經由し東岡山方面へ運行しており、現在、1番乗り場を利用している岡電 藤原団地線と同じく、岡山中央警察署、中区役所、東川原方面に運行しているため、**現在、11番乗り場で発着している「東岡山線」を、1番乗り場に乗り入れさせたい。**

◆現況及び検討案

- 【現況】現在の1番乗り場の乗り入れ便数:144便/日
- 【検討案】東岡山線(32便→1番乗り場) ⇒ 1番乗り場:**176便/日**

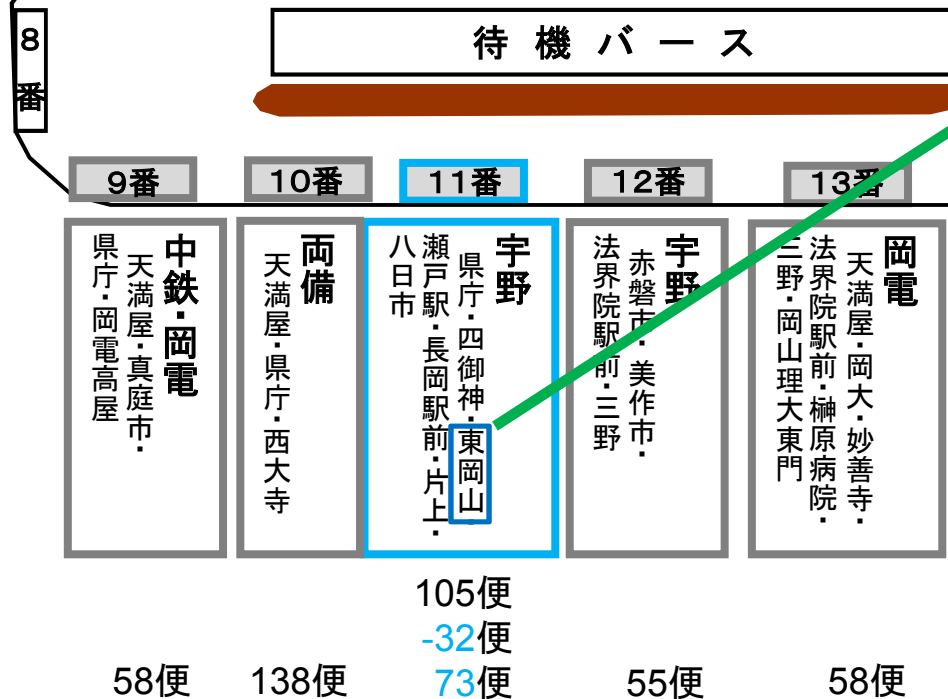
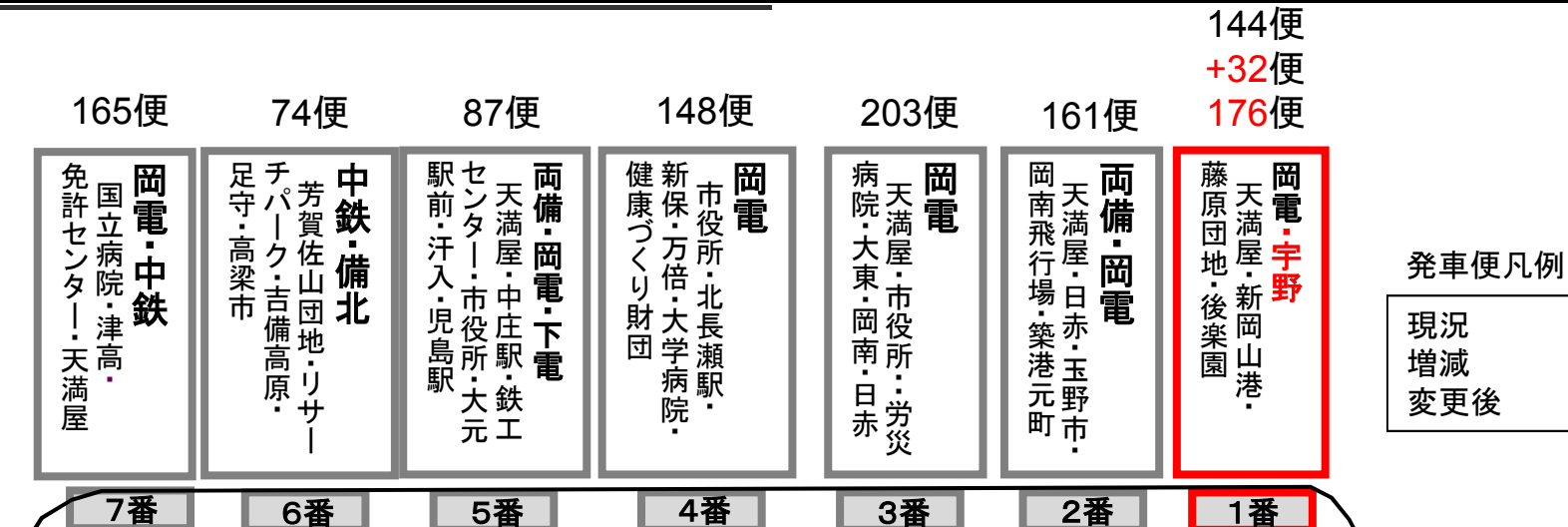
◆課題

- 東岡山線は「経路便」のため、定時性の確保が困難であり、1番乗り場への乗り入れに伴い、隣接する乗り場への支障が生じる可能性がある。
- 現在、2社以上の事業者が乗り入れている乗り場の内、最も多く乗り入れている7番乗り場(165便)の2社の事業者に問い合わせたところ、いずれも「安全な運行の確保のためには、現状の運行便数でもかなり厳しい状況」との回答であった。

◆対応方針

宇野バスから要望されている東岡山線の1番乗り場への乗り入れについては、安全な運行のために事業者間の密接な連携が必要となるため、今後対応について検討。

岡山駅東口広場バス乗場再編成(宇野バス要望反映案)

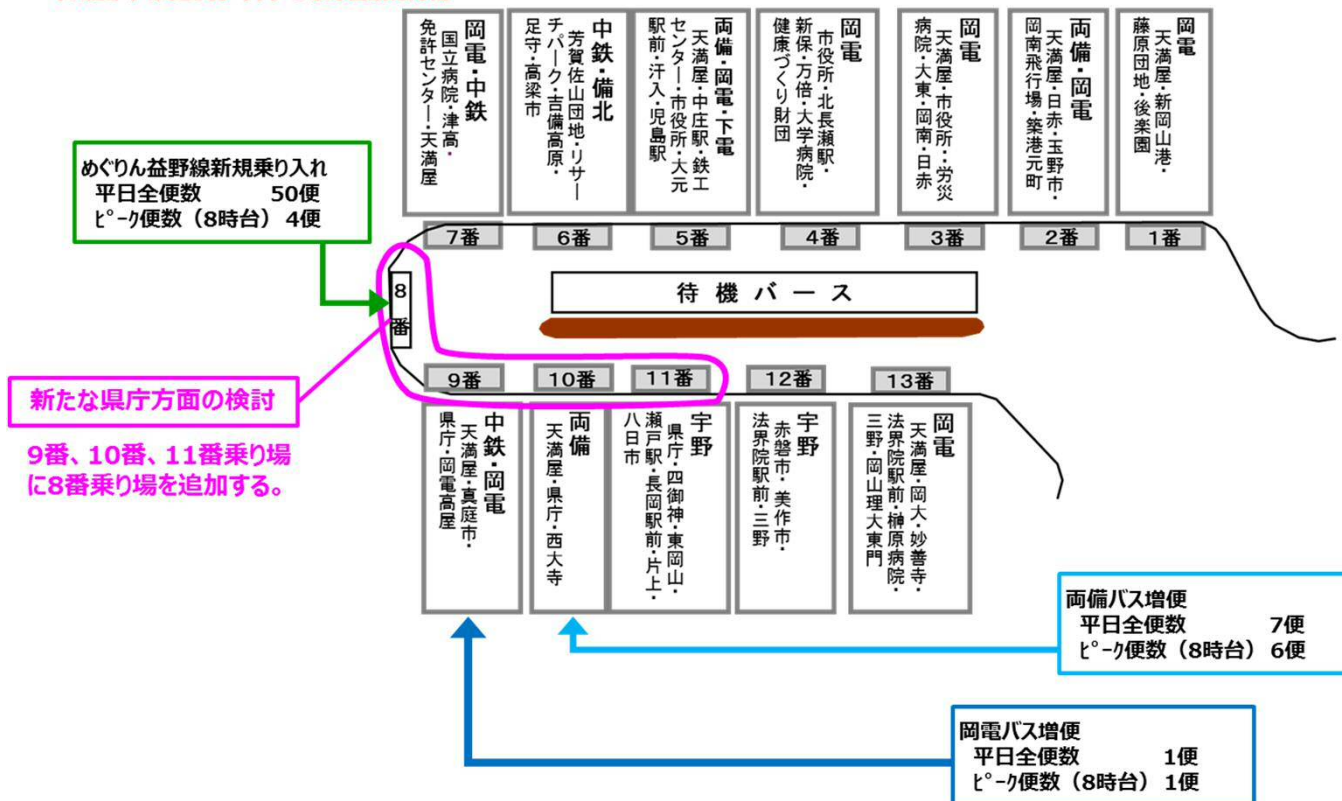


- <概要>
- 1番: 新岡山港・藤原団地方面
 - 2番: 日赤経由、玉野市・岡南飛行場方面
 - 3番: 市役所・日赤経由、岡南方面
 - 4番: 市役所経由、北長瀬駅・新保・万倍・大学病院・健康づくり財団方面
 - 5番: 中庄駅・鉄工センター方面
市役所経由、大元駅前・汗入・児島駅方面
 - 6番: 芳賀佐山団地・吉備高原・足守・高梁市方面
 - 7番: 国立病院・津高、免許センター方面
 - 9番: 天満屋・真庭市方面
県庁経由、岡電高屋方面
 - 10番: 県庁経由、西大寺方面
 - 11番: 県庁経由、四御神・東岡山・瀬戸駅方面
 - 12番: 赤磐市・美作市・法界院駅前・三野方面
 - 13番: 岡大・妙善寺・法界院駅前・榊原病院・三野・岡山理大東門方面

(3) めぐりん益野線の8番乗り場への乗り入れについて

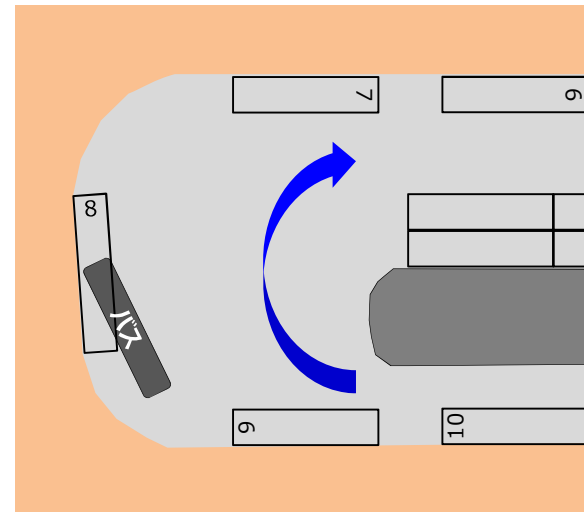
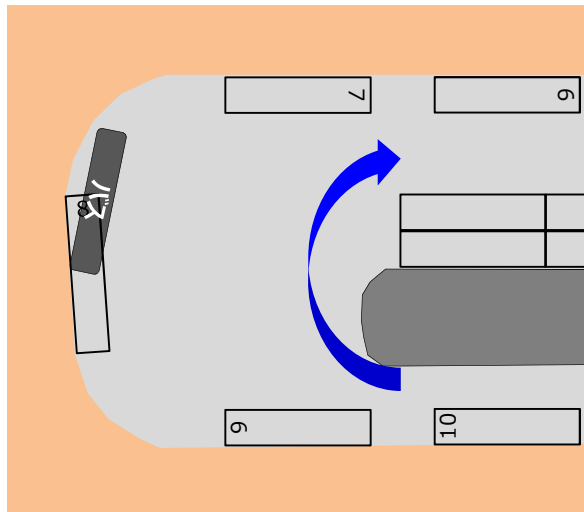
- 方面別化による利用者の利便性向上の観点から、八晃運輸が新規乗り入れを希望する「めぐりん益野線」の乗り場については、10番が望ましいと考えるが、第1回幹事会、第2回幹事会で交通事業者から、「**安全性の確保について問題があるため困難**」という意見をいただいた。
- めぐりんは経路便であることから、同じ県庁方面である9番や11番乗り場へ乗り入れた場合、経路便と発便が混在することとなり、10番乗り場と同様に、安全性の確保に問題があるため、対応は困難。
- このため、現在、着便のみで運用している8番乗り場においてめぐりんの乗り入れを検討する。

岡山駅東口広場のバス乗り場図
平成28年4月28日（木）から方面別に再編



現地調査結果

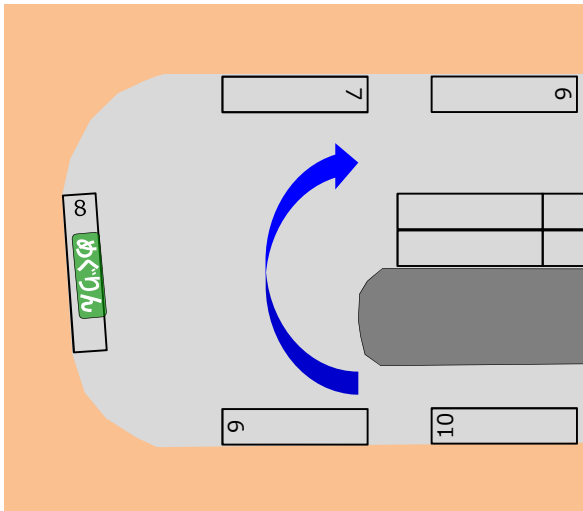
- 駅前広場全体便数のピークは8時台であり、その時間帯における円滑な運行について検証した。
- 8番乗り場(現在降車専用)について平成31年1月16日(水)8時台において、現地調査(動画撮影及び分析)を行った。
- 8番乗り場の着便は31本/時であった。(両備バス29本、中鉄バス2本)
- 8番乗り場の着便1本あたり平均停車時間は58秒(最短13秒～待機バス待ち込み3分8秒)であった。
- 8番乗り場の枠内に停車したのは3本、枠より前方に18本、後方に10本が停車していた。
- 8番乗り場をどのように使用した場合においても、他のバスは広場内を円滑に通行できていた。



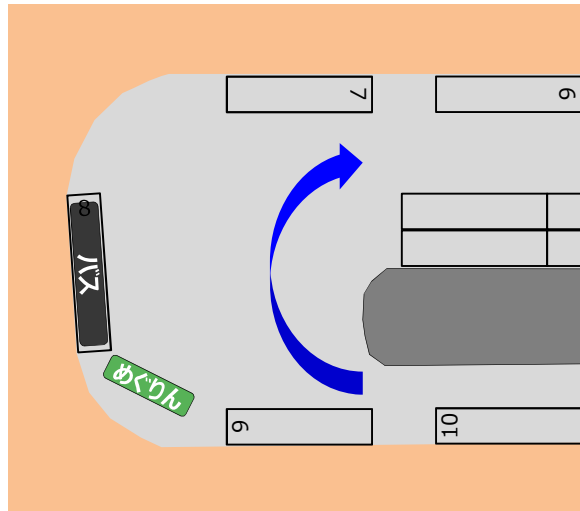
8番乗り場へのめぐりんの乗り入れ検討

- 8番乗り場を使用している路線は、8時台においてその大部分を両備バスの着便が使用している。
- めぐりんにとって、岡山駅は発着地ではなく経由地である。
- めぐりんは、朝、夕方など道路の渋滞の影響を受けて時刻どおりの運行ができない場合がある。
- 8番乗り場に先行してバスが乗り入れている場合、めぐりんは先行バスを阻害しない場所で待機し、先行バスが発車した後に乗り入れれば、広場内を円滑に通行できる。(逆のケースも同様)

8番乗り場が使用されていない場合

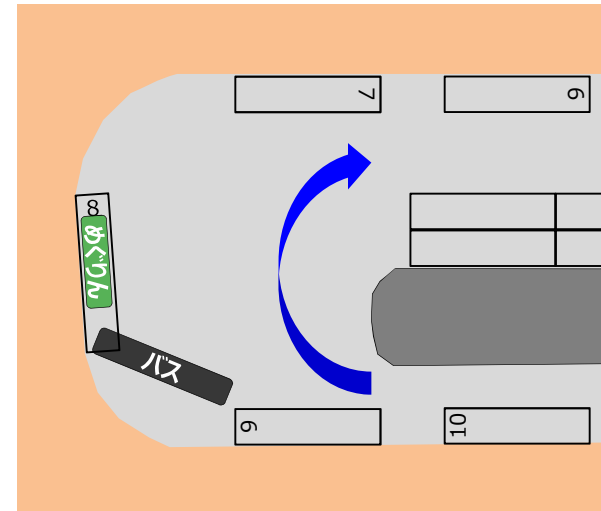


8番乗り場が使用されていた場合①



※後続車両を阻害しない場所で待機し、
他社バスが発車後に8番乗り場に進入

8番乗り場が使用されていた場合②



※めぐりんが発車後、他社バスが8番乗り場
に進入

◆結論

めぐりんの8番乗り場への乗り入れは、技術的に可能である。